

作品 No.19



生きものの“つぶやき”:

「ねえねえ、さっきから視線を感じるんだけど」

エッセイ:

太いシイの樹に登ったところ、洞の近くで沢山のトゲアリを見つけました。触角で触れあったり、小突いたりしているその姿は、どこか私たちにも似ていたり？ヒソヒソ話をしているように見えることすらあります。それにしても、そのかっこいいトゲは一体何のためにあるのだろう。生物はいつも人間の想像力を超えてくるなあー。そう思いながら、しばらく見入ってしまいました。ところでその会話、僕のことだったりはないよね？ (197字)

生きものの紹介:

トゲアリ：近年数を減らしており、環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類に選定されているアリ。クロオオアリなどに社会寄生する。巣は大木の洞などにつくられやすい。

撮影場所・日時:

千葉県木更津市・2019年4月17日

応募者の自己紹介:

1. 中屋 直哉 (なかや なおや) / 暁星国際高等学校 3年
2. 合気道部
3. 将来の夢: 合成生物学者となり、持続可能な社会の実現に貢献したい。

審査員よりひとこと

比較的珍しい種のアリの写真です。ひそひそ話という設定も面白いですね。